



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹

TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,434	5.0	2,384	3.9	2,387	4.6	1,422	7.5
2019年3月期第2四半期	20,421	10.7	2,482	18.7	2,501	17.9	1,537	17.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,389百万円 (6.7%) 2019年3月期第2四半期 1,489百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	71.72	
2019年3月期第2四半期	77.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,516	17,395	74.0
2019年3月期	23,462	16,273	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,395百万円 2019年3月期 16,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		13.50	22.50
2020年3月期		11.00			
2020年3月期(予想)				16.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,638	12.2	4,990	0.6	5,000	0.2	3,100	6.1	156.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	20,060,000 株	2019年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	220,763 株	2019年3月期	220,725 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,839,237 株	2019年3月期2Q	19,839,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にありますが、米中の通商問題、消費税率の引き上げ等が国内景気へ及ぼす影響については、依然として不透明な状況が続いております。国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した2019年9月の有効求人倍率(季節調整値)が1.57倍となり、前月を0.02ポイント下回りました。また、総務省が発表した2019年9月の完全失業率(季節調整値)は2.4%となり、前月を0.2ポイント上回っておりますが、依然として人手不足の市場環境が続いております。

当社グループは、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子・IT分野を中心とした工学系技術職派遣および事務職派遣を行う「人材サービス事業」、医薬品・医薬部外品等の基礎研究における実験業務と臨床試験以降の開発業務および市販後調査業務の代行・支援を行う「CRO事業」、ガスインジェクション装置等やバイオ関連機器などの開発・製造や、インターネットを利用した新たなビジネスモデルを創出する「その他事業」、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」からなり、当社及び子会社22社で構成されております。

当社グループは、2020年3月期を、中核事業である「人材サービス事業」の分野において、新たな営業拠点および技術研修拠点を多く設け、営業担当を大幅に増員することで、派遣依頼の件数ならびに派遣可能なスタッフ数を増加させ、競争力を高めるための投資を行う1年と位置づけております。そのために、WDB株式会社において、第1四半期に引き続き営業拠点の新規開設を行いました。2019年8月に富士支店、倉敷支店、水島受託支店、高砂支店、成田支店、多治見支店、赤穂支店、彦根支店、9月に小野支店、御殿場支店、守口支店を新設しております。また、スタッフ養成のための研修所についても、スタッフの利便性向上および研修メニューのさらなる充実を図るため、2019年7月にテクラボ広島、テクラボ川崎2、テクラボ京都、テクラボ新居浜、ジムラボ東京、テクラボエンジニア三田、8月にテクラボ岡山、テクラボエンジニア福山、9月にテクラボ立川、テクラボ堺、テクラボ豊橋を新設致しました。スタッフの確保は引き続き厳しい状況が予想されますが、地域に密着した営業活動の実施や、当社グループ独自の研修制度の充実により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」では、WDBココ株式会社(WDBアイシーオー株式会社より社名変更)を中心とした各社の業績が堅調に推移しております。日本、フィンランド、アメリカおよびインドの各拠点が連携し、今後の成長とグローバルCRO体制の構築を目指して営業活動を行っております。

「グループ戦略補助事業」では、経営効率を高めるため、2019年8月1日付で、WDB株式会社を存続会社として、グループ内のシステム開発・保守業務を行っているWDBシステムズ株式会社を吸収合併致しました。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,434百万円(前年同期比5.0%増)となりました。営業利益は、2,384百万円と前年同期と比べ97百万円(前年同期比3.9%減)の減益となりました。また、経常利益は、2,387百万円と前年同期と比べ113百万円(前年同期比4.6%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,422百万円と前年同期と比べ114百万円(前年同期比7.5%減)の減益となりました。なお、当社が重視している指標である売上高経常利益率は11.1%となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①人材サービス事業

当セグメントの売上高は、19,184百万円と前年同期と比べ929百万円(前年同期比5.1%増)の増収となりました。一方、営業拠点の新設、営業担当の大幅な増員、研修所の新設および研修メニューの追加により販管費が増大した結果、セグメント利益(営業利益)は2,391百万円と、前年同期と比べ129百万円(前年同期比5.1%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

WDBココ株式会社を中心とした各会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,066百万円と前年同期と比べ277百万円(前年同期比15.5%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、202百万円と前年同期と比べ96百万円(前年同期比90.4%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

2018年12月にWDB機能化学株式会社を解散し、株式会社WDB環境バイオ研究所の全株式を売却したため、売上高は183百万円と前年同期と比べ193百万円（前年同期比51.4%減）の減収、セグメント利益（営業利益）は0.8百万円と前年同期と比べ15百万円（前年同期比95.0%減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は23,516百万円となり、前連結会計年度末と比較して53百万円の増加となりました。負債につきましては、6,121百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,068百万円の減少となりました。また、純資産は17,395百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,121百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結会計期間末と比較して2,058百万円増加し、13,273百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,363百万円を計上しましたが、法人税等の支払額が977百万円となったことにより、699百万円の収入（前年同期は971百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として支店・研修所開設に伴う有形固定資産の取得による支出205百万円及び敷金の差入による支出227百万円により、391百万円の支出（前年同期は327百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金支払による支出267百万円により273百万円の支出（前年同期は203百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、2019年5月10日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当社では剰余金の配当に関する方針を定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,362,821	13,358,626
受取手形及び売掛金	5,073,394	5,008,668
たな卸資産	155,459	158,225
その他	555,825	468,609
貸倒引当金	△340	△15,476
流動資産合計	19,147,161	18,978,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,484,970	1,568,478
土地	748,080	748,080
その他(純額)	205,225	267,761
有形固定資産合計	2,438,276	2,584,320
無形固定資産		
のれん	398,637	347,071
その他	35,239	34,129
無形固定資産合計	433,876	381,201
投資その他の資産		
投資有価証券	97,396	100,858
敷金及び保証金	569,959	733,167
繰延税金資産	477,553	455,827
貸倒引当金	△22,038	-
その他	320,708	282,177
投資その他の資産合計	1,443,579	1,572,031
固定資産合計	4,315,732	4,537,553
資産合計	23,462,893	23,516,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,949,709	1,875,061
未払金	1,013,066	254,042
未払法人税等	1,063,653	791,593
未払消費税等	744,186	541,385
賞与引当金	591,661	718,723
その他	948,556	963,194
流動負債合計	6,310,832	5,144,000
固定負債		
役員退職慰労引当金	415,477	427,283
退職給付に係る負債	172,441	211,132
資産除去債務	123,250	165,170
その他	167,099	173,502
固定負債合計	878,268	977,089
負債合計	7,189,101	6,121,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	15,754,806	16,909,800
自己株式	△743,471	△743,591
株主資本合計	16,229,359	17,384,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,545	22,298
為替換算調整勘定	23,675	△11,670
退職給付に係る調整累計額	△789	255
その他の包括利益累計額合計	44,432	10,883
純資産合計	16,273,791	17,395,117
負債純資産合計	23,462,893	23,516,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	20,421,173	21,434,008
売上原価	15,191,559	15,795,907
売上総利益	5,229,613	5,638,100
販売費及び一般管理費	2,747,556	3,253,914
営業利益	2,482,056	2,384,185
営業外収益		
保険解約返戻金	6,031	2,670
固定資産税還付金	8,552	-
その他	12,428	5,541
営業外収益合計	27,011	8,212
営業外費用		
為替差損	489	1,840
消費税差額	4,328	9
その他	2,491	2,717
営業外費用合計	7,309	4,567
経常利益	2,501,758	2,387,830
特別利益		
固定資産売却益	378	279
事業譲渡益	11,824	-
特別利益合計	12,203	279
特別損失		
固定資産除却損	1,746	24,775
減損損失	21,390	-
その他	4,563	-
特別損失合計	27,699	24,775
税金等調整前四半期純利益	2,486,262	2,363,334
法人税、住民税及び事業税	894,454	910,998
法人税等調整額	54,058	29,511
法人税等合計	948,513	940,510
四半期純利益	1,537,749	1,422,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,537,749	1,422,824

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,537,749	1,422,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,898	752
為替換算調整勘定	△39,758	△35,346
退職給付に係る調整額	187	1,044
その他の包括利益合計	△48,469	△33,549
四半期包括利益	1,489,279	1,389,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,489,279	1,389,275
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,486,262	2,363,334
減価償却費	99,404	96,710
のれん償却額	47,859	54,007
減損損失	21,390	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△121
賞与引当金の増減額(△は減少)	126,301	127,062
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,786	11,806
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,854	40,196
受取利息及び受取配当金	△1,004	△1,201
支払利息	19	102
事業譲渡益	△11,824	-
保険解約返戻金(△は益)	△6,031	△2,670
有形固定資産売却損益(△は益)	△378	△279
有形固定資産除却損	1,746	24,775
売上債権の増減額(△は増加)	134,812	64,726
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,206	△2,766
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△45,291	△45,444
仕入債務の増減額(△は減少)	△152,389	△74,648
未払金の増減額(△は減少)	△319,635	△768,223
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△111,343	△235,167
その他	35,254	23,888
小計	2,298,561	1,676,087
利息及び配当金の受取額	1,004	1,201
利息の支払額	△19	△102
法人税等の支払額	△1,328,444	△977,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	971,102	699,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△47,550	△45,073
定期預金の払戻による収入	47,406	44,936
有形固定資産の取得による支出	△42,605	△205,005
有形固定資産の売却による収入	378	279
無形固定資産の取得による支出	△18,313	△6,510
資産除去債務の履行による支出	△1,366	△6,593
投資有価証券の取得による支出	△242,814	△2,540
敷金の差入による支出	△15,512	△227,365
敷金の回収による収入	3,967	51,288
保険積立金の払戻による収入	12,017	6,112
事業譲渡による収入	8,945	-
その他	△31,659	△1,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,106	△391,746

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5,353	△6,189
配当金の支払額	△198,236	△267,359
自己株式の取得による支出	△296	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,885	△273,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,758	△35,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	400,351	△1,212
現金及び現金同等物の期首残高	10,815,246	13,275,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,215,598	13,273,830

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,255,080	1,789,409	20,044,489	376,683	20,421,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,018	20	13,038	—	13,038
計	18,268,098	1,789,429	20,057,528	376,683	20,434,211
セグメント利益	2,520,936	106,606	2,627,542	16,672	2,644,215

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及びガスインジェクション装置等やバイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,627,542
「その他」の区分の利益	16,672
全社費用(注)	△162,159
四半期連結損益計算書の営業利益	2,482,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
減損損失	—	—	—	21,390	21,390

(注) 「その他」の金額は、有機化合物製造事業に係る金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,184,176	2,066,590	21,250,767	183,241	21,434,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,821	—	17,821	—	17,821
計	19,201,998	2,066,590	21,268,588	183,241	21,451,829
セグメント利益	2,391,133	202,994	2,594,127	825	2,594,953

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やバイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,594,127
「その他」の区分の利益	825
全社費用(注)	△210,768
四半期連結損益計算書の営業利益	2,384,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。